

# 東日本大震災 全日本民医連支援ニュース

現地の仲間・住民と連帯し「民医連ここにある」の心意気でともに力を合わせて頑張りましょう！

NO. 30 2011.4.8 11:45 発 全日本民医連対策本部

Mail : taisaku-honbu@min-iren. gr. jp

## ◆震災から4週間！長期戦にそなえた息の長い支援を◆

\* 本日、藤末会長・小西副会長・花岡理事・林事務局次長が福島・南相馬入り！現状把握と今後の支援方針について具体化！

## 昨夜、宮城県沖を震源とする震度6強の地震が発生！

詳細はこれからですが、現地から第一報が入りました！

- ・坂病院、古川病院、長町病院、泉病院、松島診、宮城野の里とも、幸い人的被害ありませんでした。支援者も怪我なく無事です。
- ・坂病院はクリニックを含めて建物のひび割れがかなりの箇所で見られています。ガラスも割れています。窓の外側の縁の壁が各階壊れ落ちています。地震後、停電し、水道がストップしています。本日は一般診療を中止して対応する予定です。トリアージ体制は午前2時で解除しました。
- ・宮城野の里は、玄関前がさらに沈下したこと、内部の家具類がいくつか倒れて散乱しているようです。電気は止まっています。
- ・多賀城・塩釜市内は、全市停電中で、信号も止まっています。さらに断水も発生しています。
- ☆今回の地震は、縦揺れが大きく建物の被害が心配されています。塩釜、多賀城の避難所の被災者は暫減傾向でしたが、この地震によるライフラインの途絶でまた増えると思われます。電気、水などの復旧がポイントです。被災者の皆さんの心理的な影響も心配です。

## 支援者のこころのケアを忘れずに！

震災対策本部より送信していますが、東京都福祉保健局が作成した「災害時の『こころのケア』の手引き」を参考にしてください。<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/chusou/video/leaf/files/saigai.pdf>

なお、全日本民医連ホームページに、田村昭彦理事の「支援者の心の健康」(動画)をアップしています。あわせてご活用ください。

## 各団体と協力した取り組みを！

各医療団体と協力した取り組みが進みつつあります。日本医師会災害医療チーム(JMAT)は、4月7日現在 380 チーム派遣、そのうち全日本民医連が 28 チーム登録されています。(準備中のチームは 212 チーム、うち全日本民医連 8 チームの登録)となっています。

各都府県の病院協会が行う支援に登録して活動しているところもあります。プライマリ・ケア連合学会/PCATとの連携も進んでいます。明日、現地支援に必要な医療材料を提供します。

## <お知らせ> 特別シンポ 原発・核兵器私たちの未来

主催：日本原水協 4/11(月)18:30～ 於：平和と労働センター <参加費無料>

パネリスト：吉井英勝さん(日本共産党衆議院議員)、野口邦和さん(日本大学専任講師)

※吉井英勝衆議院議員には「政府・東京電力の対応の問題点と今後の課題」、野口邦和さんには放射線防護学の観点から、「放射線が私たちにもたらす影響」というテーマで話していただきます。

支援者到達(8日現在)：1,740人(医師283、薬剤師106、看護師511、技術系301、事務他539) 本日の支援者数は(移動含む)180、延べ数は7,962人となりました！  
支援募金到達：1億400万円を超えました！

## ◇全日本民医連支援ニュースの活用をお願いします◇

☆状況は刻々と変わります。各県連におかれましては、各事業所にリアルタイムに転送をお願いします。